

(4) 由利本荘市・石沢地区

① 取組内容と実施スケジュール

モデル自治体・地区では人口分析・推計に加えて現地調査・ヒアリング、2回のワークショップ、市町報告会を実施した。以下が実施概要である。

■現地調査・ヒアリング

・市役所担当者へのヒアリング

日時 2020年7月21日(火) 10:00-12:00

場所 由利本荘市石沢公民館

対象 地域振興課4名、移住まるとサポート課1名、地域包括支援センター2名

・対象地区住民代表へのヒアリングおよび現地調査

日時 2020年7月21日(火) 13:00-17:00

場所 由利本荘市石沢公民館および石沢地区各所

対象 石沢地域振興会会長ら2名、石沢地区町内会長協議会会長1名

■ワークショップ(1回目)

日時 2020年9月18日(金) 18:30-20:30

場所 由利本荘市石沢公民館

参加 17名

■ワークショップ(2回目)

日時 2020年11月13日(金) 18:30-20:30

場所 由利本荘市石沢公民館

参加 18名

■由利本荘市報告会

日時 2021年1月30日(土) 13:30-15:30

場所 由利本荘市消防庁舎

参加 31名

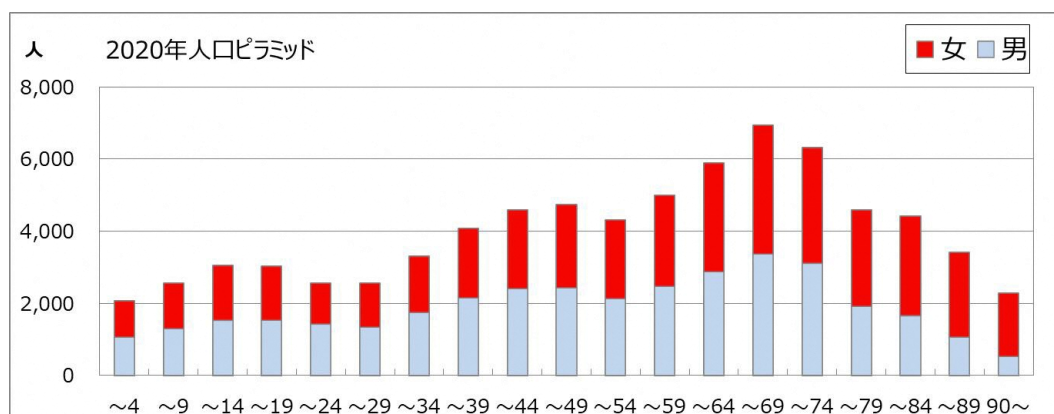
② 人口分析・推計（由利本荘市全体）

委託機関が構築した人口推計シミュレーションプログラムを用いて由利本荘市全体での人口の現状分析、パターン別人口推計シミュレーションを行った。

1) 現状分析（2015～2020年）

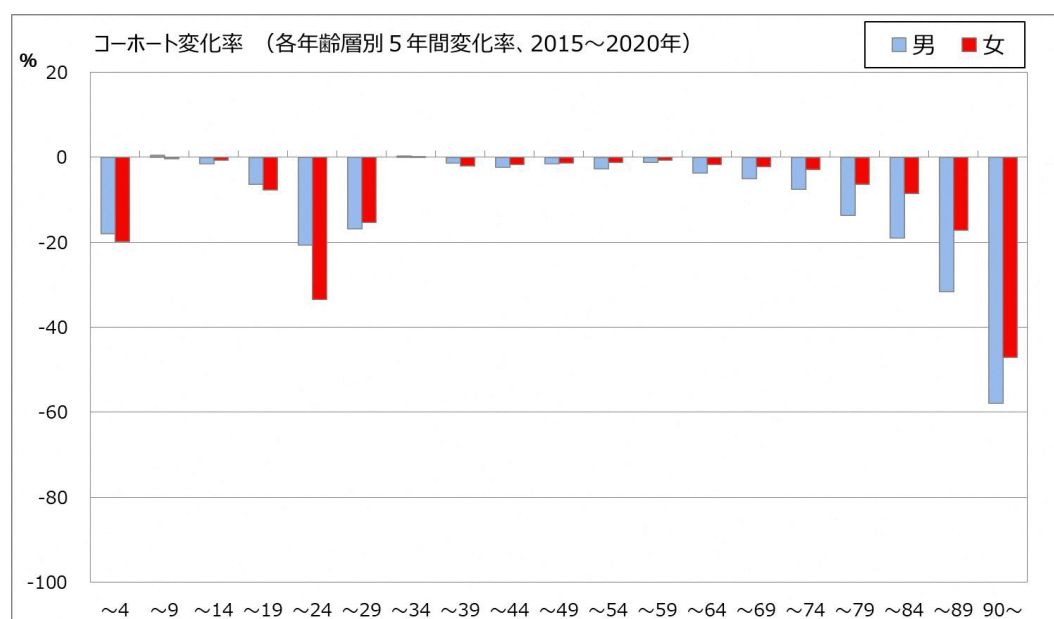
由利本荘市全体の人口構成、過去5年間（2015～2020年）の人口動態の推移を示す。

i. 年代別人口構成



60代後半が最多の6,939人、次いで70代前半が6,313人となっている。最も少ないのは0～4歳の2,066人、その次が20代後半の2,555人となっている。

ii. 年代別コーホート変化率



これは2015年から2020年の5年間の各年代における人口増減を変化率で示したものである。例えばこの図で示される「～19」は「15～19歳」の10代後半のことで、数値はこ

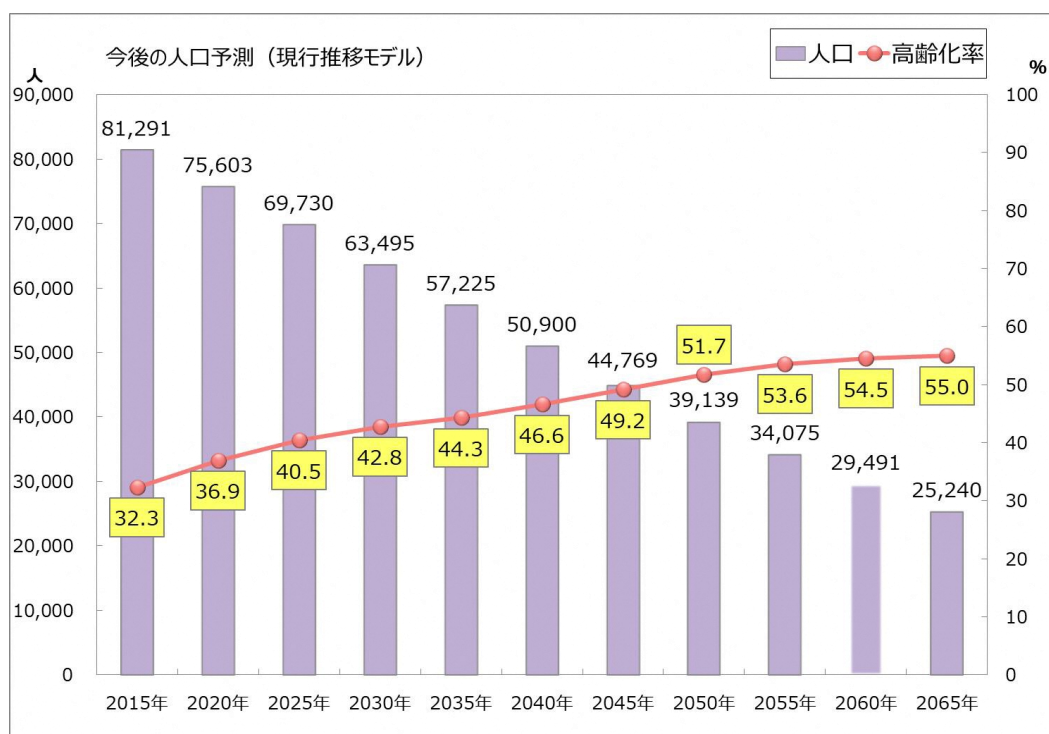
の年代の2015年時点の「10～14歳」の人口と比較してどの程度の増減（主に社会増減）をしているかを表している（0～4歳のみ5年前の比較が出来ないので各時点での人数を比較）。また、高齢年代の減少の多くは自然減である。

由利本荘市では子ども（5～9歳男性）とその親世代である30代前半男女が増加しており移住・定住支援の成果が見え始めている。その数は合わせて10人である。しかし、10代後半～20代後半にかけての減少（流出）を補うには至っていないのが現状である。

2) 現状推移シナリオ

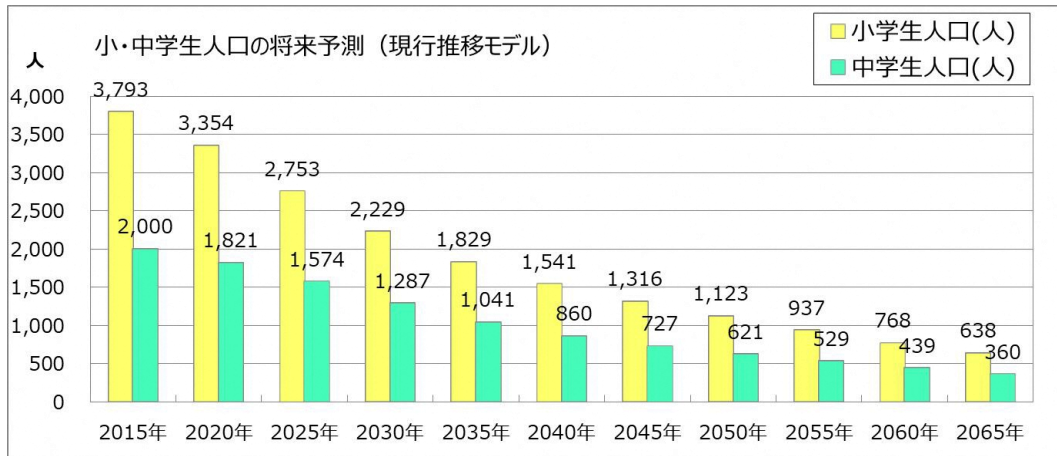
過去5年間（2015～2020年）の人口動態が今後も続いた場合の人口推移を検討する。

i. 人口と高齢化率予測



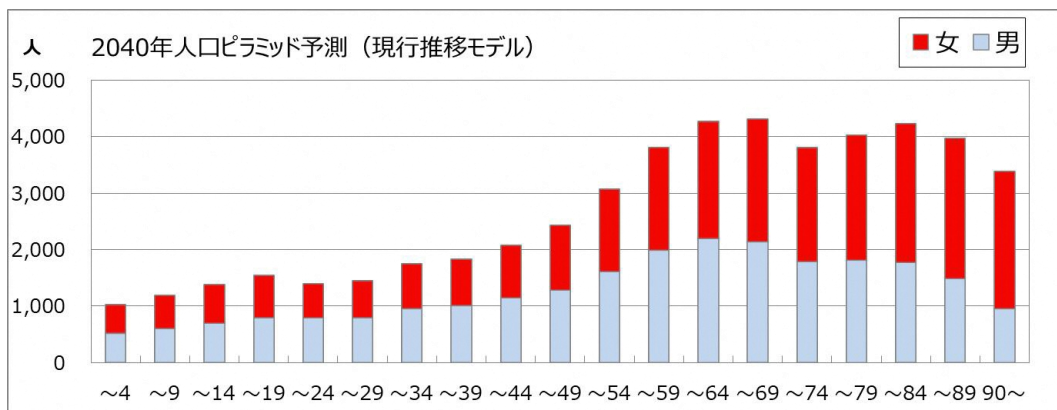
若年層を中心とした流出と高齢者割合の高まりから、高齢化率は2065年までに約18%の上昇が予測される。人口総数は減少が続き、2020年比で2040年には67.3%、さらに2065年には33.4%まで減少すると推計されている。

ii. 小・中学生数予測



過去5年間の出生数や社会増減を基に予測する限り、小・中学生数も著しい減少となる。2020年比で2040年には46.4%、2065年には19.3%となり、人口総数以上の減少率と推計されている。

iii. 2040年（20年後）の年代別人口構成



60代にピークがあり、それより若い年代は著しい減少傾向にある。特に40代後半より若い年代は60代前後半の各年代の半数かそれ以下の人数となる。また、20代の女性割合も比較的低くなると推計されている。

3) 人口安定化シナリオ

人口安定化シナリオは合計特殊出生率、10代後半の流出率、定住増加数の3つの要素を組み合わせて検討する。人口の安定化には出生率と10代後半の流出率を改善させ、過去の若年層の人口流出を補うように、20代前半夫婦、30代前半子連れ夫婦、60代前半夫婦の3世代のバランスのとれた定住を増加させることが望ましいと思われる。

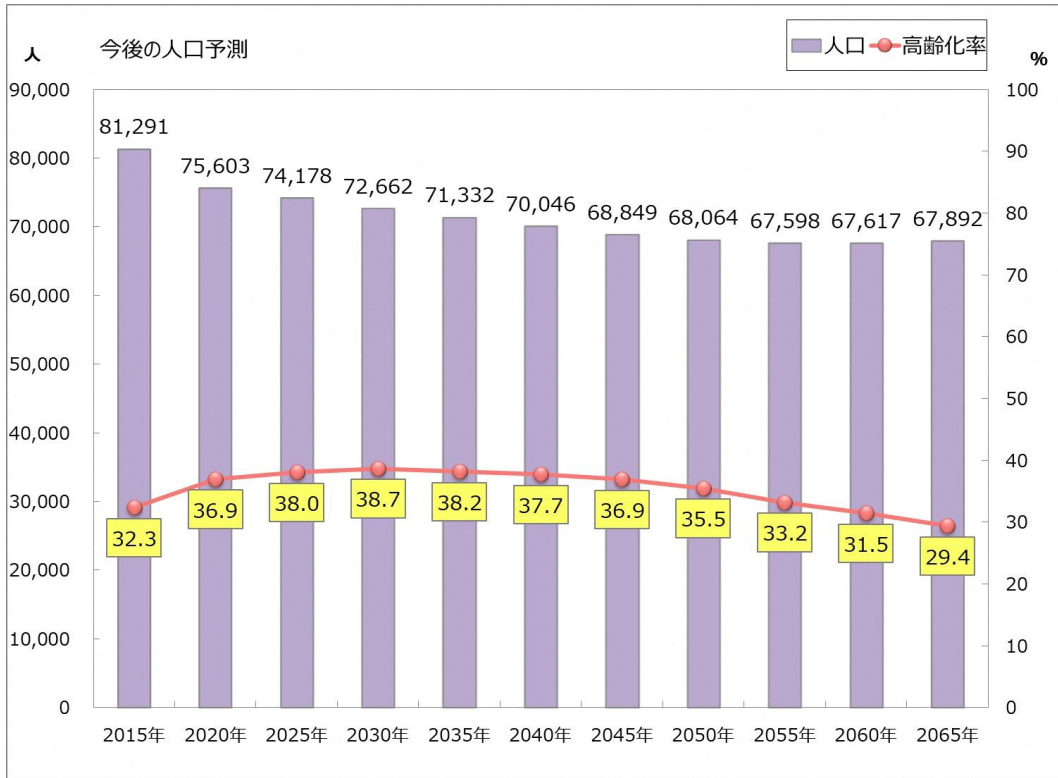
今回の組み合わせでは、出生率は2015年に策定された由利本荘市人口ビジョンの推計に準じながらも、より緩やかに回復すると仮定し2040年には1.94、2045年以降は2.07へと段階的に上昇させる設定とした。10代後半の流出率は現状の半分となるように設定した（詳細は参考資料に記載）。10代後半の流出率を半分に抑制するという仮定は現実には多くの困難が予想される。しかしながら、この部分を具体的に検討する端緒となることを期待しこの設定とした。定住増加数の対象は20代前半夫婦、30代前半子連れ夫婦、60代前半夫婦の3世代として毎年各99.0組の誘致数とした。以上の条件設定で、出生率、流出率、定住増加数の3要素を組み合わせた人口安定化シナリオを検討する（下表参照）。

表 人口安定化シナリオの設定数値

合計特殊出生率 (%)	10代後半流出率 (%)		定住増加数・率/年	
	現状	設定値		
2020～2025年	1.52		各世代 (世帯)	99.0
2025～2030年	1.63	男性 21	合計世帯数 (世帯)	297.0
2030～2035年	1.73	女性 33	合計人数 (人)	693.0
2035～2040年	1.83		2020年人口比 (%)	0.92
2040～2045年	1.94			
2045年以降	2.07			

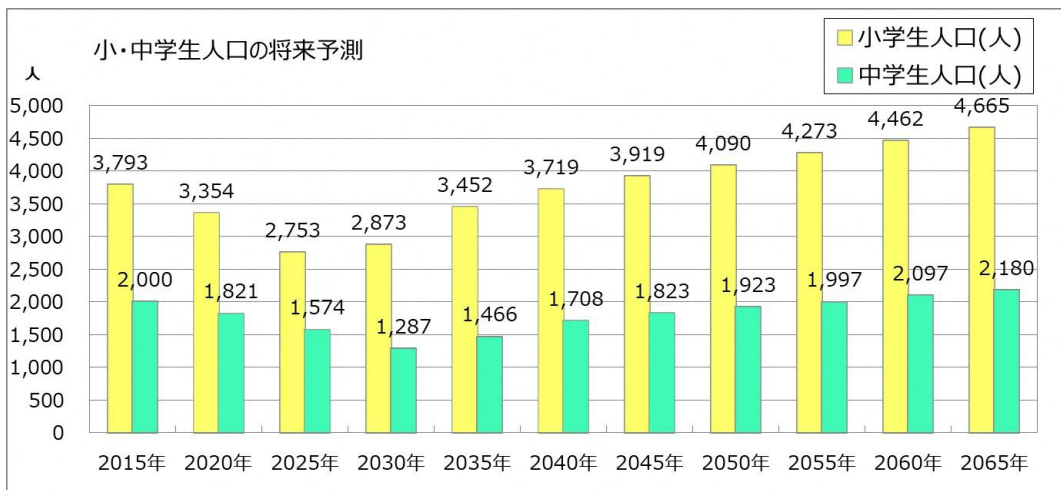
注：20代前半夫婦は1組（世帯）2人、30代前半子連れ夫婦は1組（世帯）3人、60代前半夫婦は1組（世帯）2人と設定。

i. 人口と高齢化予測



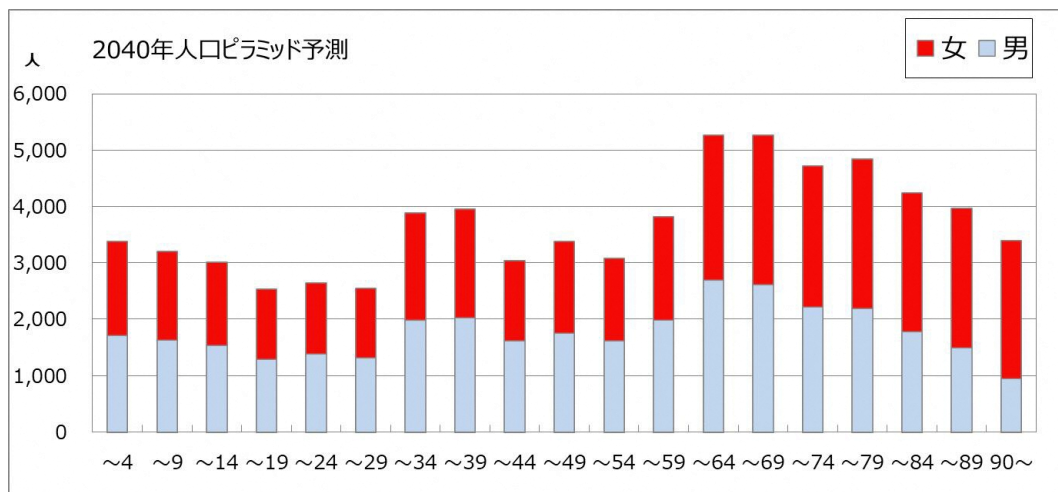
2020年人口の0.92%に相当する人数を毎年、呼び込むことが出来れば、人口総数、高齢化率ともに長期にわたり安定化が達成される。

ii. 小・中学生数予測



小・中学生数は、2030年頃からは増加に転じる。その後、2035～2040年の間に現在の小・中学生数と同程度までに回復すると推計された。次頁に示す人口ピラミッドはこの年代層の取り戻しがあって初めて安定的な状態を示すものである。

iii. 2040年（20年後）の年代別人口構成



60代に最も大きいピークがあり、その30年（一世代）後の30代に一回り小さいピークが表れている。そして同様にその年代の子ども世代にもピークが表れると推計される。現状推移モデルと比較しても改善が見られ地域人口が次代へとつながるような人口構成になるものと思われる。

③ 人口分析・推計（由利本荘市内全地区）

次に由利本荘市内全地区における人口分析・推計結果を掲載する。その内、2015～2020年の地区別コーホート変化率については一覧表で、それ以外の主だった分析・推計については地図上で色分けした図で表示する。

次頁に示した2015～2020年由利本荘市地区別コーホート変化率の表からは人口動態は地区別に異なっており、それぞれの地区に適した独自の対策が必要であることが伺える。

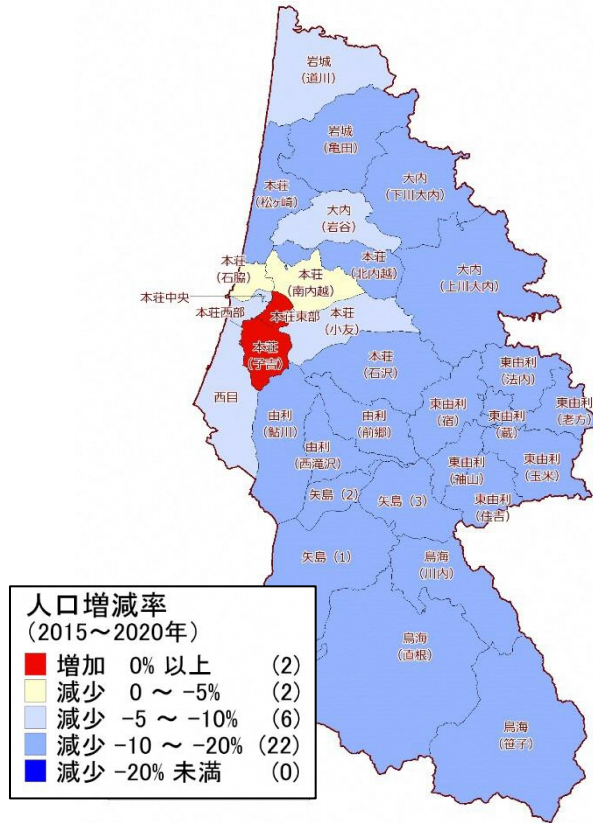
その次に図示した分析項目は人口増減率（2015～2020年）、高齢化率（2020年）、社会増減率（2015～2020年）、4歳以下増減率（2015～2020年）、小学生増減率（2015～2020年）、30代女性コーホート増減率（2015～2020年）、人口増減率予測（2020～2050年）、2050年に人口安定化を達成するために必要な毎年の定住増加率（2020年人口比%）である。この分析・推計結果は市内全地区が表示された地図上に色分けして表示する。結果の評価については良い場合の暖色（赤色）から悪い場合の寒色（青色）まで段階的に表示している。

■2015～2020年由利本荘市地区別コーホート変化率

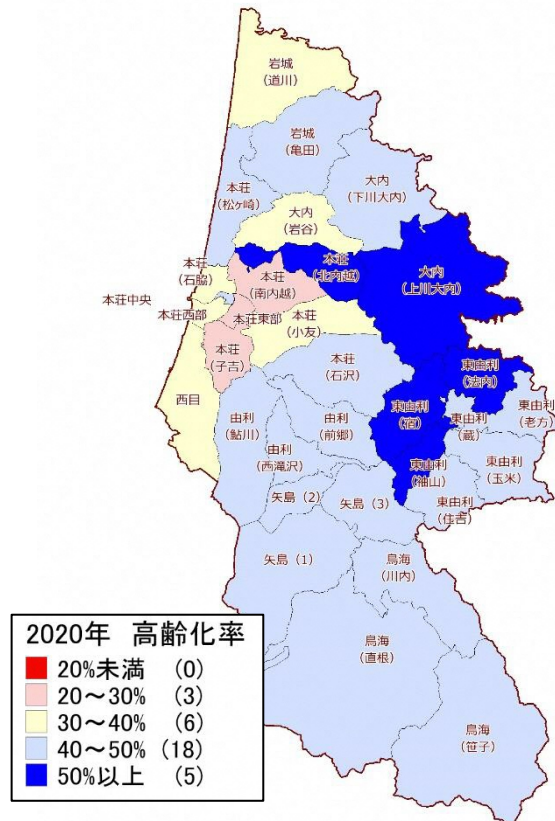
地域名	性別	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳
本荘中央	男	1.67	1.05	1.20	1.08	1.03	0.68	1.12	1.16	1.04	0.96	0.94	1.08	0.98	0.88	0.88	0.88
	女	1.00	0.86	0.94	1.00	0.66	0.97	1.13	1.00	1.04	1.03	1.07	0.93	1.05	0.96	0.97	0.90
本荘東部	男	0.96	1.01	1.01	1.01	0.88	0.98	1.26	1.08	1.03	1.01	1.02	1.01	1.01	0.98	0.95	0.86
	女	0.98	1.03	1.00	1.02	0.78	1.00	1.11	1.10	0.97	1.05	1.00	1.04	0.99	1.00	0.98	0.97
本荘西部	男	0.74	1.12	0.94	0.92	0.78	0.90	1.11	0.99	0.96	1.02	0.93	1.01	0.98	0.93	0.89	0.86
	女	0.67	1.24	0.98	0.99	0.64	1.00	1.02	1.10	0.98	0.98	0.93	1.01	0.99	0.95	0.96	0.91
本荘(石脇)	男	0.86	0.94	0.99	0.95	0.76	0.97	1.08	0.95	0.96	0.95	0.94	0.99	0.93	0.96	0.94	0.86
	女	0.73	0.97	1.00	0.93	0.74	1.03	1.01	0.97	0.98	0.96	1.02	1.01	0.96	0.96	0.96	0.93
本荘(子吉)	男	1.12	1.04	0.99	0.99	0.92	1.04	1.05	1.06	1.08	1.09	1.04	1.02	0.95	0.96	0.88	0.75
	女	1.18	1.08	1.00	0.99	0.77	1.44	1.20	0.96	1.15	1.03	1.00	0.96	0.96	1.04	1.00	0.95
本荘(小友)	男	0.53	1.13	1.00	0.88	0.73	0.91	0.92	1.05	0.96	1.05	0.93	1.00	0.98	0.93	0.97	0.93
	女	0.50	0.96	0.98	0.87	0.58	0.67	0.93	0.85	1.05	1.02	1.00	1.00	1.02	0.98	0.96	0.90
本荘(石沢)	男	0.76	0.71	1.00	0.91	0.70	0.66	0.84	1.00	0.95	1.00	0.93	0.97	1.02	0.96	0.94	0.83
	女	1.00	1.00	1.00	0.90	0.67	0.77	0.77	0.93	1.06	1.03	0.93	0.97	0.97	1.01	1.00	0.95
本荘(南内越)	男	0.81	0.90	0.95	1.36	1.23	0.53	0.92	0.98	0.91	1.01	0.94	0.98	0.98	0.96	0.91	0.92
	女	0.93	0.85	1.00	0.99	0.94	1.07	1.16	1.04	0.99	0.96	1.02	1.03	1.00	0.96	0.97	0.97
本荘(北内越)	男	0.40	0.80	0.77	0.79	0.80	0.53	0.80	0.84	0.96	0.81	0.94	0.96	1.00	0.87	0.96	0.89
	女	0.20	0.60	1.50	0.80	0.53	0.59	0.63	0.72	1.21	0.83	0.92	1.07	0.97	0.97	1.00	0.97
本荘(松分崎)	男	0.79	0.95	1.11	0.91	0.55	0.85	0.85	0.84	1.02	0.98	1.00	0.98	0.99	0.92	0.88	0.80
	女	0.38	0.88	0.94	0.96	0.63	0.77	0.76	0.87	1.00	1.02	1.04	0.94	1.00	0.98	1.00	0.93
矢島(1)	男	0.78	0.84	1.02	0.80	0.65	0.65	0.80	0.97	0.89	0.92	0.95	0.99	0.96	0.94	0.91	0.86
	女	0.70	1.04	0.98	0.85	0.57	0.74	0.91	0.90	0.91	0.99	0.90	0.99	0.96	0.98	0.97	0.93
矢島(2)	男	2.00	3.00	1.00	0.85	0.67	0.71	0.50	1.22	0.94	0.80	0.73	0.95	0.86	0.95	0.89	0.94
	女	1.00	0.67	1.00	0.91	0.33	0.33	0.83	1.20	0.92	0.75	1.00	1.00	0.89	0.97	0.94	0.96
矢島(3)	男	0.63	1.25	1.00	0.88	0.62	0.50	0.88	0.84	0.93	0.92	1.05	0.96	0.94	0.97	0.85	0.85
	女	0.50	0.80	0.83	0.92	0.47	0.50	0.92	0.90	1.27	1.13	1.00	0.96	0.90	0.91	0.96	1.00
岩城(道川)	男	0.73	1.04	0.98	0.89	0.78	0.70	0.89	0.90	1.01	1.07	1.05	0.99	0.86	0.96	0.96	0.84
	女	0.73	0.97	1.02	0.94	0.67	0.62	0.73	0.96	0.99	0.97	1.07	0.98	0.95	1.01	0.97	0.91
岩城(亀田)	男	0.65	1.18	1.00	0.80	0.45	0.85	0.78	0.90	0.98	1.00	0.92	0.98	0.93	0.95	0.93	0.95
	女	0.94	1.38	0.93	0.83	0.52	0.52	0.84	0.86	0.95	0.96	0.97	0.95	1.01	1.00	1.01	0.92
由利(西滝沢)	男	0.89	0.95	1.00	0.87	0.69	0.68	0.90	0.85	0.85	0.90	1.00	0.98	0.98	0.90	0.95	0.86
	女	0.60	0.96	0.90	0.87	0.32	0.63	0.82	0.81	1.07	0.97	0.93	0.94	1.01	0.94	0.95	0.98
由利(前郷)	男	0.59	1.03	1.06	0.86	0.65	0.72	0.76	0.90	0.92	0.96	0.93	0.95	0.94	0.88	0.96	0.81
	女	0.72	0.86	1.02	0.86	0.68	0.68	1.00	0.83	0.92	1.07	1.02	1.00	1.01	0.95	0.96	0.94
由利(鮎川)	男	0.56	1.11	0.93	0.89	0.63	0.81	0.93	0.91	1.06	0.95	0.97	0.98	0.94	1.02	0.88	0.83
	女	0.93	0.93	1.00	0.95	0.59	0.58	0.85	1.08	0.95	1.03	1.00	0.92	1.04	0.98	0.96	0.94
西目	男	0.53	1.04	1.02	0.91	0.95	1.00	1.13	1.04	0.97	0.98	0.99	0.99	0.98	0.94	0.90	0.91
	女	0.63	1.04	1.01	0.90	0.61	0.74	0.99	0.99	0.97	1.02	0.98	0.99	0.99	0.98	0.96	0.96
東由利(住吉)	男	0.00	0.33	0.75	0.64	0.58	1.00	0.55	0.83	1.00	1.08	1.00	0.95	1.08	0.93	0.92	0.81
	女	0.50	0.75	0.88	0.89	0.33	0.85	0.75	1.00	0.83	1.00	1.00	1.00	1.04	0.96	1.00	0.92
東由利(玉米)	男	0.71	0.57	1.00	1.20	0.60	0.91	0.82	0.88	1.00	0.94	0.95	1.03	0.92	0.98	0.85	0.80
	女	0.38	1.13	1.17	0.75	0.41	0.53	0.45	0.88	1.08	1.00	1.00	0.97	0.97	0.98	0.97	0.93
東由利(袖山)	男	0.00	0.50	1.00	1.00	0.40	1.00	1.00	1.00	0.75	0.67	0.80	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	女	1.00	0.50	1.00	1.00	0.33	0.33	1.00	0.50	1.00	1.00	1.00	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00
東由利(老方)	男	0.38	1.15	0.91	0.83	0.80	0.83	1.00	1.33	0.83	0.95	1.06	0.88	0.92	0.95	0.92	0.90
	女	0.89	1.22	0.88	0.67	0.50	0.86	1.50	0.78	0.68	0.96	0.95	1.10	0.97	1.00	0.94	0.90
東由利(蔵)	男	1.67	1.67	1.00	0.43	0.50	0.33	0.73	0.92	1.06	1.00	1.00	1.06	0.92	0.97	1.05	1.00
	女	1.00	1.00	1.00	1.14	1.00	0.80	1.40	1.29	1.00	0.78	0.92	1.17	1.00	0.97	1.00	0.90
東由利(法内)	男	2.00	1.00	1.00	1.00	0.83	1.00	0.50	0.75	1.00	1.25	1.33	1.00	0.83	1.00	0.90	0.88
	女	0.50	1.00	1.00	1.00	0.50	0.50	0.57	0.88	0.50	0.67	1.00	1.00	1.00	0.89	0.82	1.00
東由利(宿)	男	1.00	1.40	1.00	0.57	1.00	1.00	0.88	1.13	0.86	1.00	1.00	1.00	0.95	0.93	1.04	0.85
	女	0.40	0.90	1.00	0.70	0.44	0.56	0.86	1.00	0.62	0.86	1.00	1.00	1.09	0.90	1.00	0.96
大内(岩谷)	男	1.00	1.24	1.03	0.97	0.64	0.85	1.01	1.02	1.10	1.02	1.00	0.96	1.01	0.95	0.92	0.85
	女	0.81	1.09	1.09	0.89	0.60	0.86	1.08	1.08	1.08	0.98	0.96	0.99	1.00	0.99	0.99	0.95
大内(下川大内)	男	0.79	1.11	0.88	0.88	0.76	0.71	0.98	1.04	0.90	0.89	1.00	0.96	1.03	0.93	0.94	0.85
	女	1.21	1.21	0.97	0.86	0.69	0.58	1.28	0.92	1.09	0.87	0.97	0.93	0.95	0.97	0.94	0.95
大内(上川大内)	男	0.52	0.83	0.80	0.72	0.71	0.67	0.71	0.89	1.00	0.92	0.85	0.94	1.00	0.91	0.92	0.89
	女	0.85	0.85	0.88	0.87	0.48	0.36	0.73	0.88	1.00	0.95	0.96	0.98	0.99	0.95	1.00	0.89
鳥海(川内)	男	0.73	0.91	1.09	0.90	0.63	0.78	0.88	0.88	0.95	0.98	0.91	0.98	0.96	0.89	0.91	0.90
	女	0.81	0.88	0.97	0.77	0.48	0.82	0.90	0.70	0.85	0.98	0.93	0.94	0.99	1.00	0.98	0.85
鳥海(直根)	男	1.00	0.75	0.92	0.67	0.45	0.57	0.80	0.86	1.00	0.89	1.00	1.00	0.88	0.90	0.96	0.83
	女	0.89	0.56	1.00	0.75	0.47	0.47	0.60	0.82	0.80	0.76	1.05	1.03	0.96	1.00	0.91	0.91
鳥海(笹子)	男	0.29	0.86	0.68	0.57	0.60	0.54	0.86	0.81	0.77	0.89	0.92	0.95	0.91	0.94	0.91	0.88
	女	1.00	0.64	0.79	0.68	0.45	0.48	0.94	0.66	0.63	0.88	0.87	0.98	0.93	0.95	0.91	0.83

注：コーホート変化率の計算方法は参考資料に掲載のとおり。

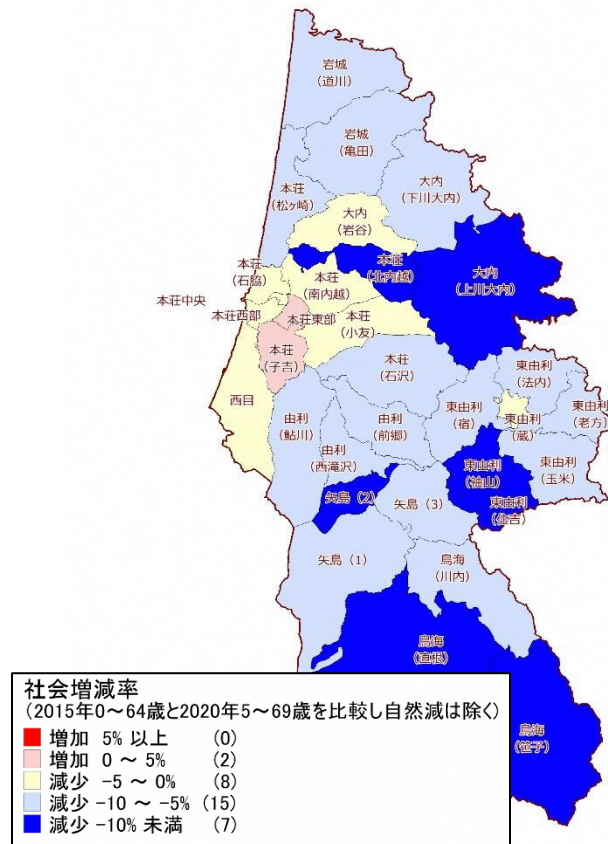
■人口増減率（2015～2020年）



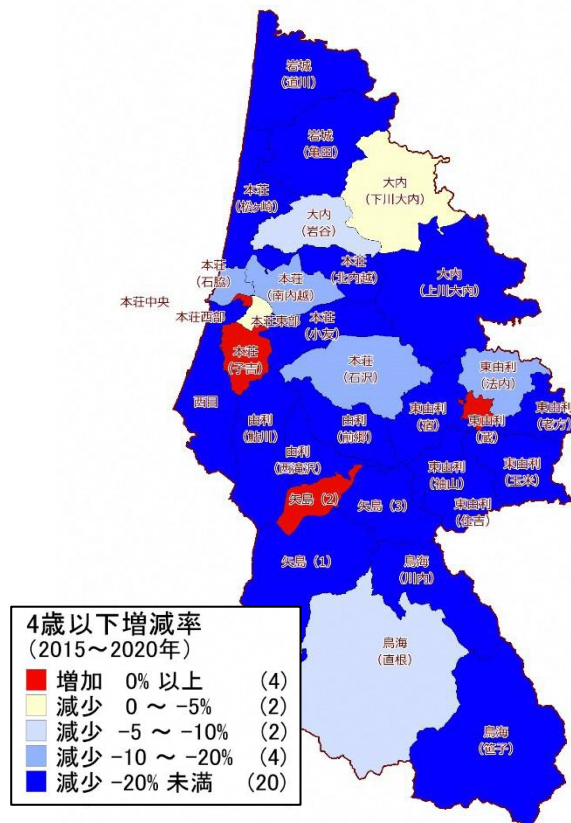
■高齢化率（2020年）



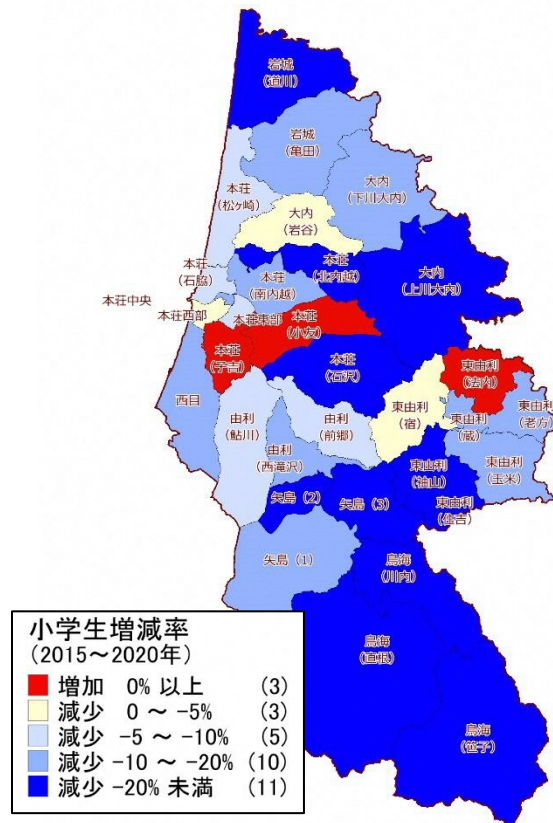
■社会増減率（2015～2020年）



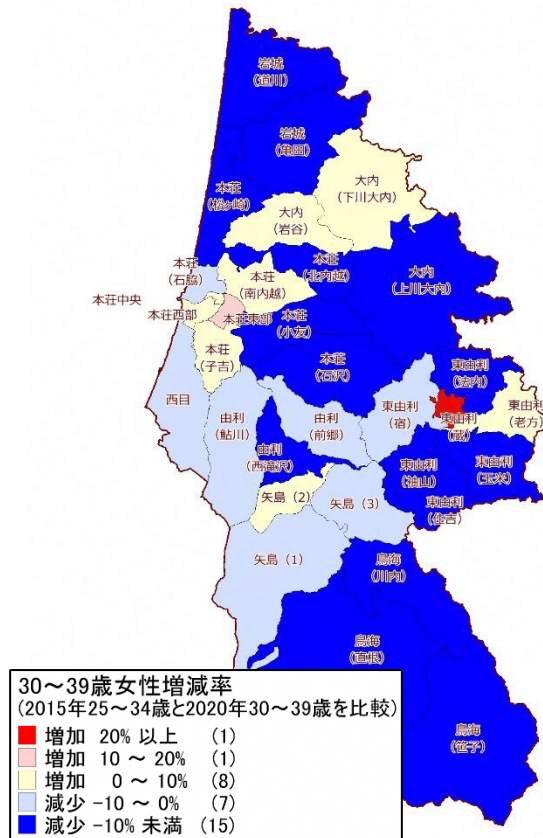
■4歳以下増減率（2015～2020年）



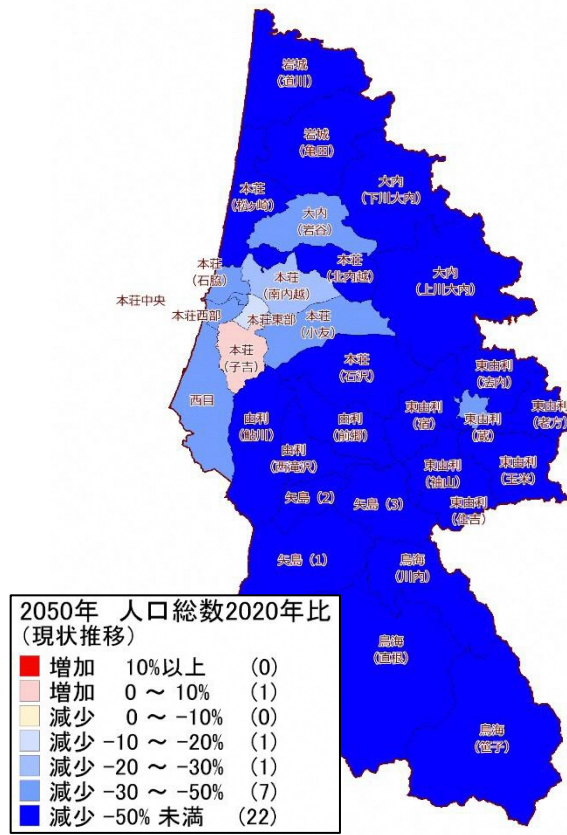
■小学生増減率（2015～2020年）



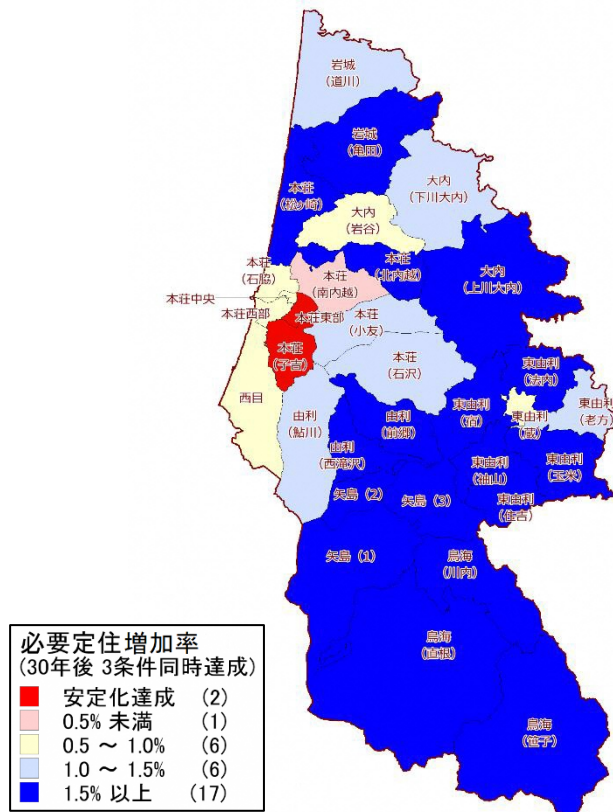
■30代女性コーホート増減率（2015～2020年）



■人口増減率予測（2020～2050年）



■2050年に人口安定化を達成するために必要な毎年の定住増加率（2020年人口比%）



④ モデル地区（由利本荘市石沢地区）の概要

由利本荘市は32地区から構成されており、その内石沢地区をモデル地区として本事業を実施した。石沢地区は石沢小学校区と同範囲であり、18の町内会から構成されている。人口1,483人、522世帯、高齢化率42.8%（2020年12月当時）の由利本荘市の中央部に位置する山間の地区である。地区内の小学校は1校で、2021年3月をもって廃校することとなっている。中学校は2004年3月に閉校している。

石沢地区の特徴として、地区を挙げて教育に対する熱意が高く、戦時中に疎開していた元お茶の水高等女学校の生徒が桜を植栽した「絆の茂里」での平和学習や整備活動等を小学校児童と地区住民とで取組んでいることが挙げられる。

また、ソバの栽培が盛んで県内有数の産地でもある。住民有志による地元産のソバを活かした活動団体が2つあり、小学校と連携してソバづくりを児童に伝える取組みを続けている。児童は小学校近くの畑でソバの種まきや収穫を行い、ソバづくりに携わる住民らと交流を持ちながら石沢地区のことを学んでいる。

さらに、新鮮館107という産地直売所と食堂を備えた施設を開設し、食堂は地区内の女性らが中心になり運営している住民有志による取組みもある。国道沿いのため地区内だけでなく地区外の人が立ち寄る場所になっている。

そして、石沢地区は鳥海山・飛鳥ジオパークのジオサイトに登録されている石沢大滝と屏風岩（柱状節理）、宮沢林道の大しゅう曲露頭、日住山や鬼倉山系のブナ林からの水源による豊富な川魚や昆虫等自然資源にも恵まれている。

その他、地区内の団体や組織に関してはヒアリング調査から作成した次頁の地元関係図にまとめたので参照いただきたい。



絆の茂里



ソバ刈り体験学習

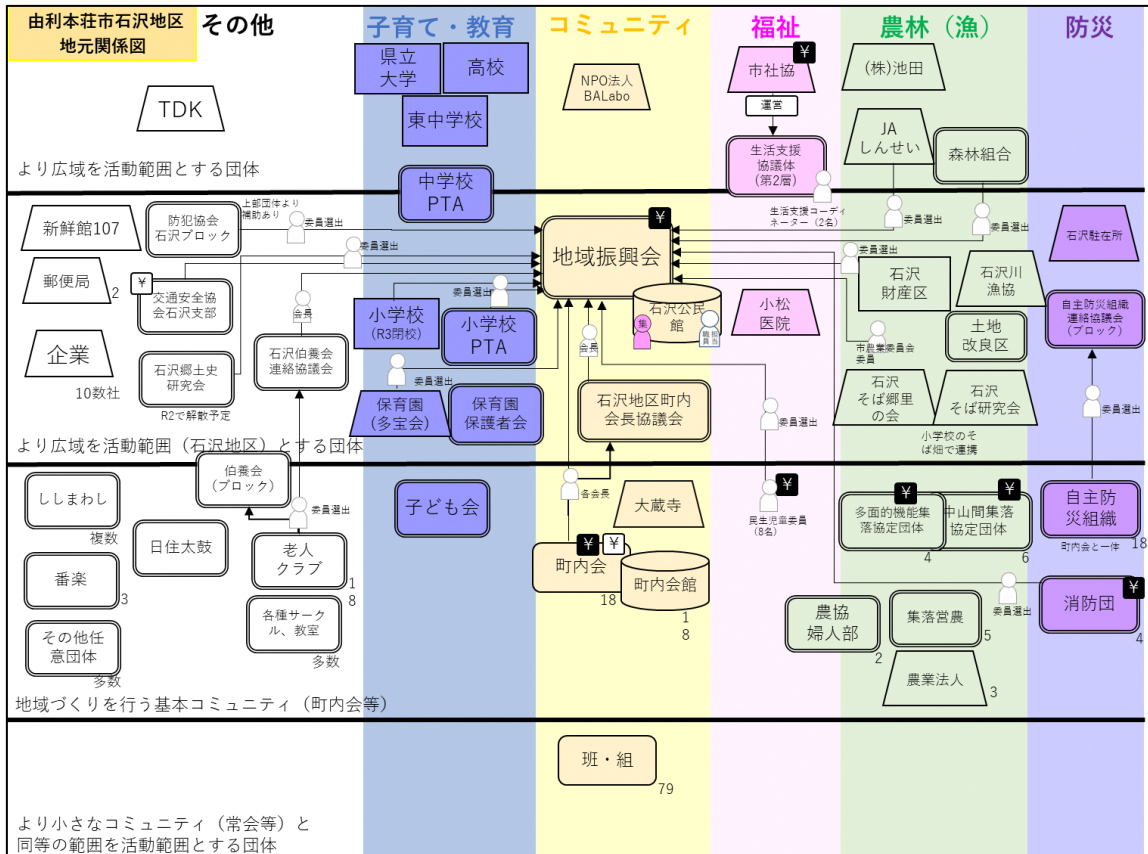


図 石沢地区の地元関係図

注：□の¥は地域住民から集めたお金、■の¥は行政からの交付金・補助金を表現。

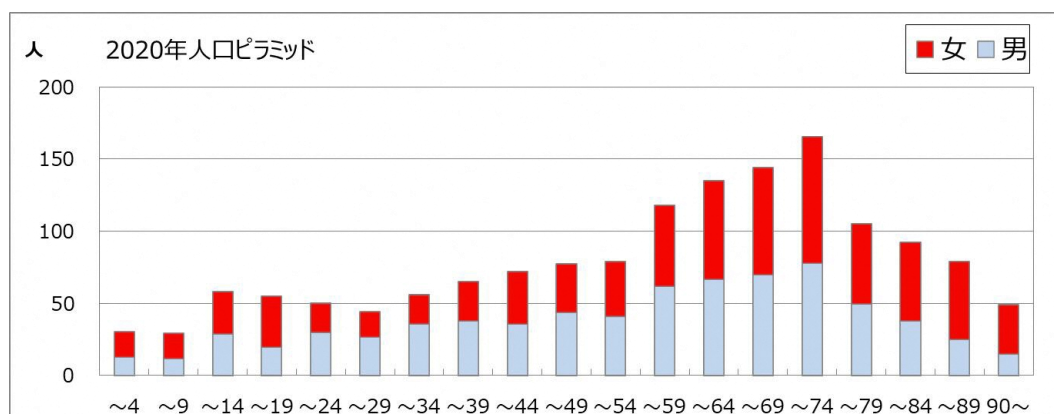
⑤ 人口分析・推計（由利本荘市石沢地区）

由利本荘市全体での人口の現状分析、パターン別人口推計シミュレーションと同様の分析と検討を石沢地区においても行った。

1) 現状分析（2015～2020年）

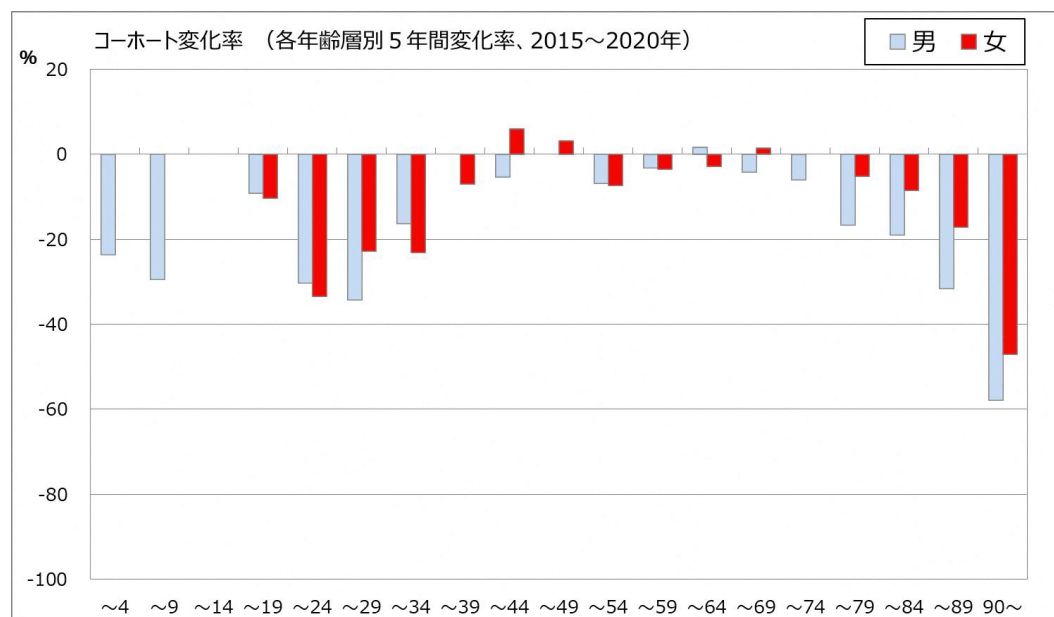
石沢地区における人口構成、過去5年間（2015～2020年）の人口動態の推移を示す。

i. 年代別人口構成



最多は70代前半の165人、最少は5～9歳の29人となっている。最も多い年代がすでに70代になっていることから現役世代の高齢化が進行しているものと思われる。50代後半より若い年代が急激に人数を減らしていること、20～30代女性の割合が低いこと、10代未満の年代がさらに人数を減らしていること等、地域コミュニティを維持していく上では思わしくない傾向が散見される。

ii. 年代別コーホート変化率



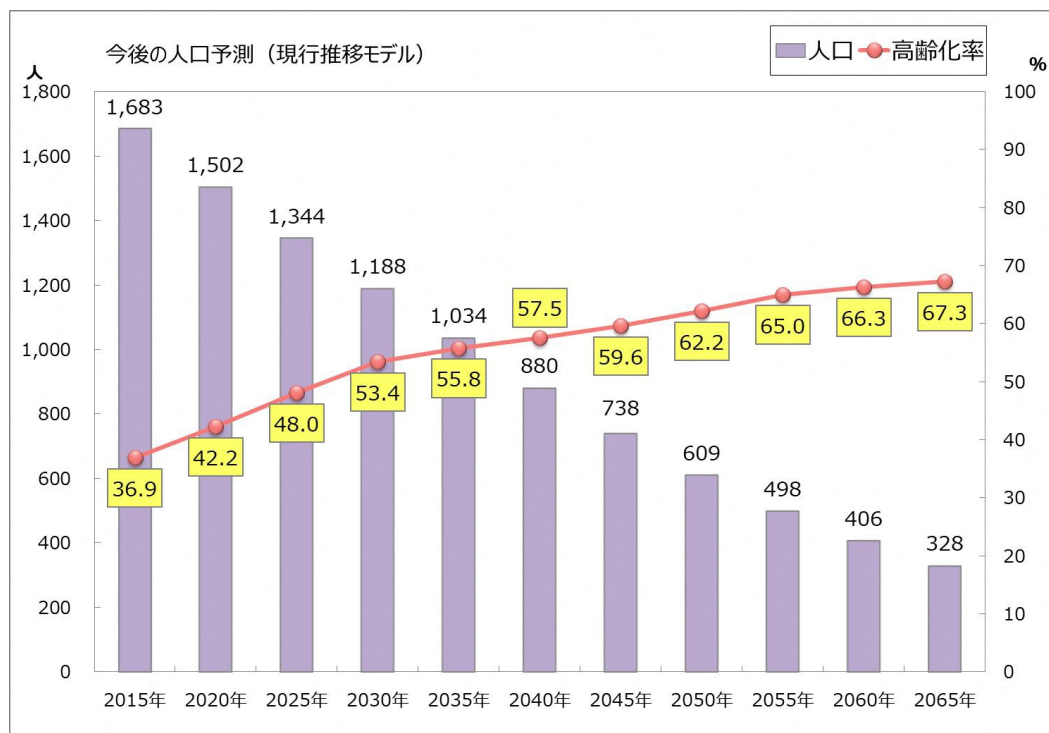
40代女性、60代前半男性、60代後半女性が増加している。また、人数を維持している

年代も多数見られる。しかし 20～30 代前半は男女問わず 30%前後減少しており、この減少分の取り戻しが急務と思われる。

2) 現状推移シナリオ

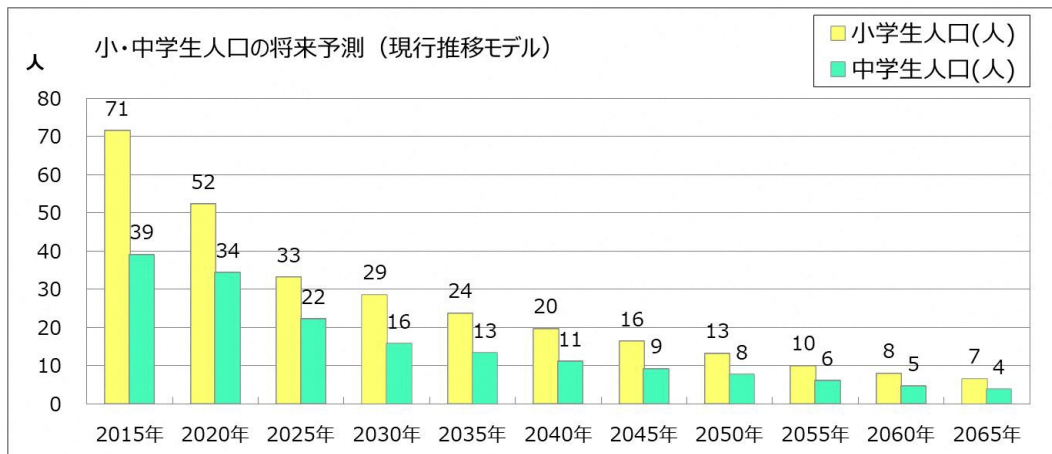
石沢地区における過去 5 年間（2015～2020 年）の人口動態が今後も続いた場合の人口推移を検討していく。

i. 人口と高齢化率予測



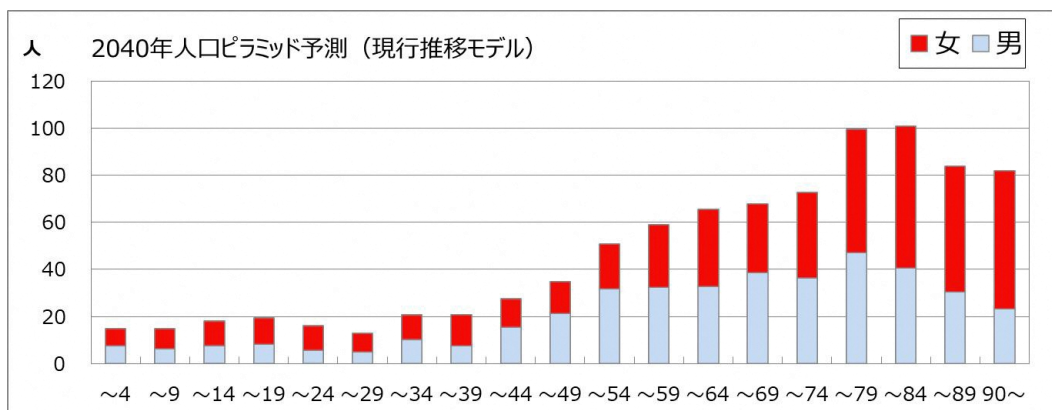
由利本荘市全体と比較すると、より急速に人口減少が進み高齢化率が高まるものと思われる。人口は 2020 年比で 2040 年には 58.6%、2065 年には 21.8%まで減少すると推計されている。

ii. 小・中学生数予測



小・中学生数も著しい減少となり、その減少幅は上記の地区の全人口と比べても非常に大きいものとなる。2020年比で2040年には36.0%、2065年には12.8%まで減少し、その実数は11人と推計されている。

iii. 2040年（20年後）の年代別人口構成



70代後半から80代前半にピークが移っている。70代の前後半で人数に大きな隔たりがあるものの50代前半までは緩やかな減少である。しかし、それより若い年代は急減し30代からは20人程度かそれより少ない人数となり、20年後よりさらにその先は一層、厳しい人口構成になると類推される。

3) 人口安定化シナリオ

由利本荘市全体での検討と同様に石沢地区においても人口安定化シナリオを検討する。この検討には合計特殊出生率、10代後半の流出率、定住増加数の3つの要素を組み合わせる。

今回の組み合わせでは、出生率は2015年に策定された由利本荘市人口ビジョンの推計に準じながらも、より緩やかに回復すると仮定し2040年には1.94、2045年以降は2.07へと段階的に上昇させる設定とした。10代後半の流出率は現状の半分となるように設定した（詳細は参考資料に記載）。10代後半の流出率を半分に抑制するという仮定は現実には多くの困難が予想される。しかしながら、この部分を具体的に検討する端緒となることを

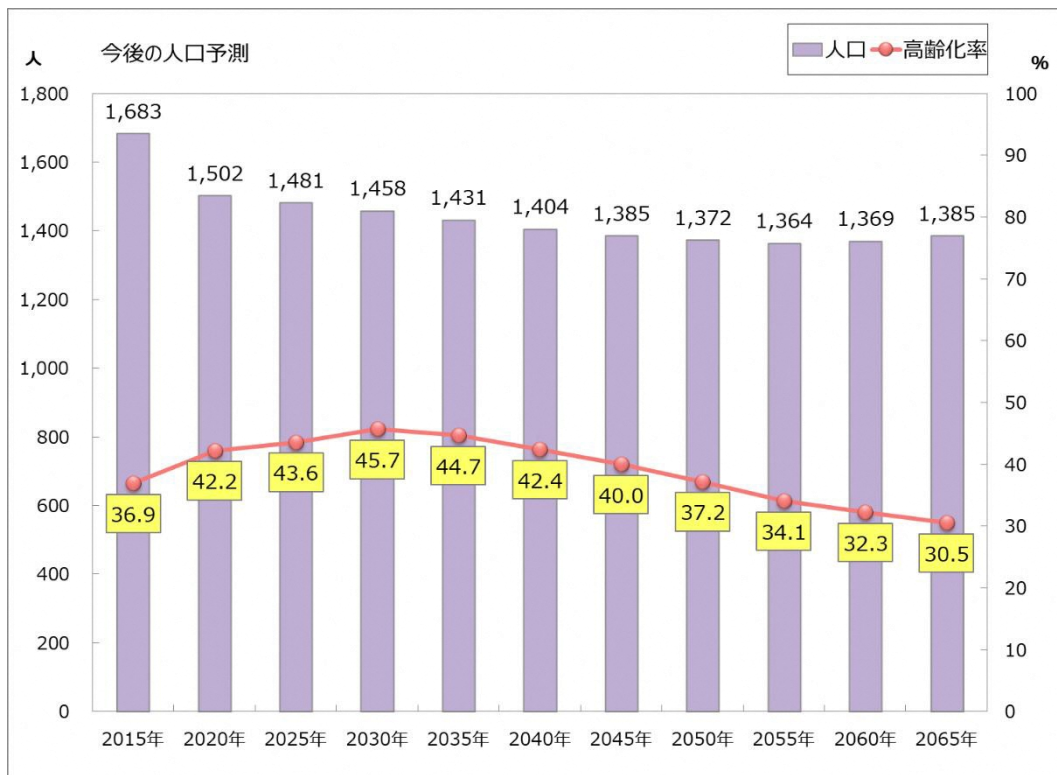
期待しこの設定とした。定住増加数の対象は 20 代前半夫婦、30 代前半子連れ夫婦、60 代前半夫婦の 3 世代として毎年各 3.2 組の誘致数とした。以上の条件設定で、出生率、流出率、定住増加数の 3 要素を組み合わせた人口安定化シナリオを検討する（下表参照）。

表 人口安定化シナリオの設定数値

合計特殊出生率 (%)	10代後半流出率 (%)		定住増加数・率/年			
2020～2025年	1.52	現状	設定値	各世代（世帯）	3.2	
2025～2030年	1.63	男性	30	15	合計世帯数（世帯）	9.6
2030～2035年	1.73	女性	33	17	合計人数（人）	22.4
2035～2040年	1.83				2020年人口比 (%)	1.49
2040～2045年	1.94					
2045年以降	2.07					

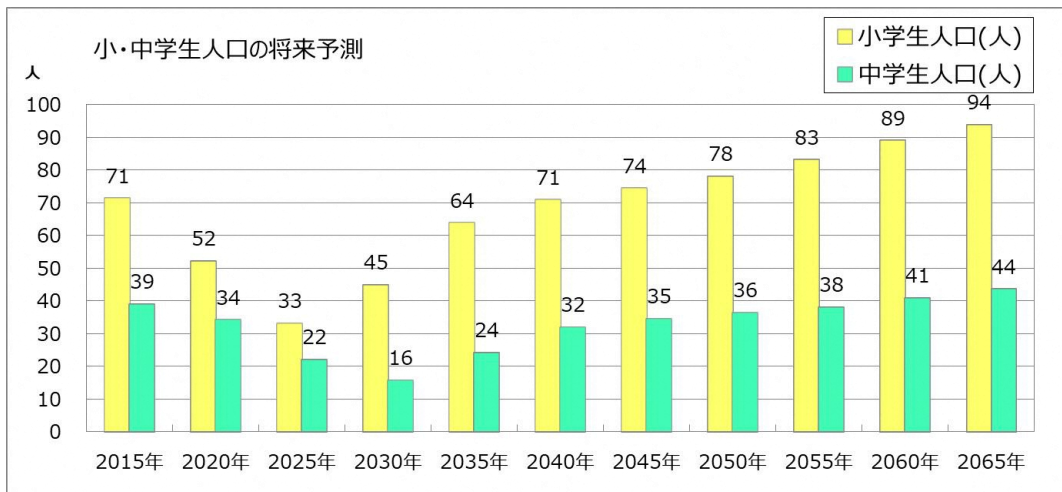
注：20 代前半夫婦は 1 組（世帯）2 人、30 代前半子連れ夫婦は 1 組（世帯）3 人、60 代前半夫婦は 1 組（世帯）2 人と設定。

i. 人口と高齢化予測



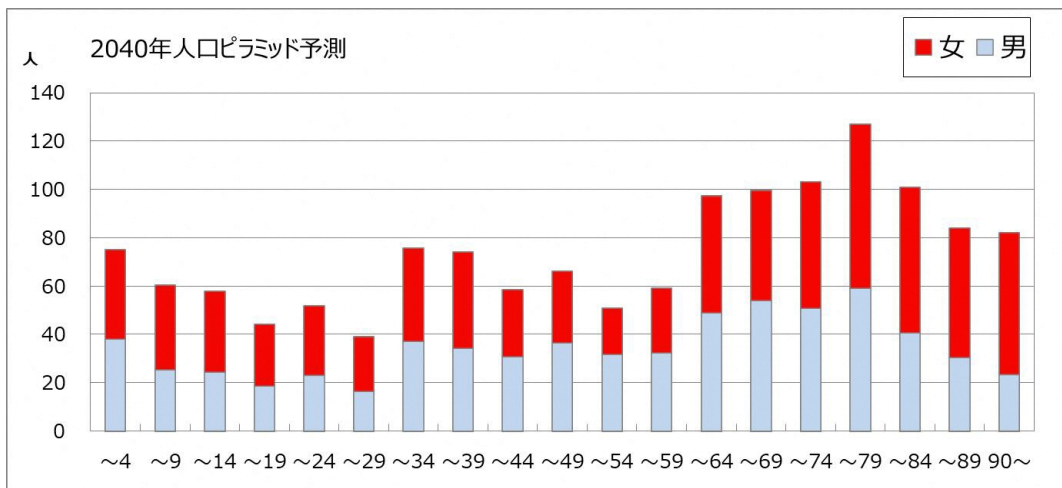
人口総数、高齢化率とも、長期にわたり安定化が達成される。

ii. 小・中学生数予測



子育て夫婦や若者夫婦の継続的な定住が達成されれば小・中学生数は、2030年頃からは増加に転じ2035年には現在の小・中学生数と同程度に回復すると推計される。

iii. 2040年（20年後）の年代別人口構成



凹凸のある構成ではあるが30代と10代以下の年代にもピークが見られる。世代ごとに厚みが見られるような人口構成になると推計される。

⑥ ワークショップ（1回目）（人口安定化ワークショップ）

1) 目的

本業務の目的でもある具体的な定住促進策の検討には住民の参加が求められる。当ワークショップでは、住民の方々に地域の人口動態を再確認いただき、移住者がどのくらい増えれば地域の人口はどのように変化するのか具体的にシミュレーションいただいた。その上で目標とすべき移住者誘致数や地域人口の安定化を検討することを目的として行った。

2) 開催概要

■日時/場所/参加者

- ・日時 2020年9月18日（金）18：30－20：30
- ・場所 由利本荘市石沢公民館
- ・参加者 地域住民（17名）、由利本荘市職員、秋田県職員、NPO法人秋田パートナーシップ職員等
A～Dの4班に市職員等が数名配置され、各班6名前後の構成

■実施・作業内容

- ・株式会社Pサポ東北の太田氏による当日の作業内容等の概要説明
- ・人口動態の増減要因分析として自らの地区の2015年から2020年の各年代、男女別の人口動態（コーホート変化率）を確認し、その増減要因を分析
- ・人口推計シミュレーションプログラムを実際に体験し、人口安定化に向けた具体的な移住者数の検討

■当日の様子



3) 人口動態の増減要因分析

この作業では参加者に対して石沢地区の年代別コーホート変化率のグラフを提示しながら、各年代の増減要因を検討いただいた。各班の検討結果の要約・抜粋が次頁表である。

表 石沢地区における人口増減要因分析結果の要約・抜粋

年齢	人口増加要因	人口減少要因
0～4		結婚年齢が遅くなっている 女の子に比べて男の子が少ない 親の転勤や移住
5～9	親に子の面倒をみてもらう	親の転勤や移住
10～14		
15～19	住民票を動かしていない	女子は進学で出ていく 進学、就職 経済的に見合わない高学歴になっている
20～24	野球チームがある 地元企業(TDK) 就職	カメムシが嫌 イベントがない 就職進学 経済的に見合わない高学歴になっている 勤め先がない
25～29	土地が安い 結婚	アパートなどが無い 結婚独立(市内街部へ) 一度同居しても親世代と合わなくて出ていく 子育ての条件が不利
30～34	親に子の面倒をみてもらう 東由利と本荘市内に勤めている 結婚	転勤 干渉されたくない
35～39	親に子の面倒をみてもらう 離婚後に戻ってきた 婿取りが多い 移住(市内含む)	市内に家を建てる
40～44	離婚後に戻ってきた 嫁に来る	一時いてもいなくなる
45～49		
50～54		子育て支援で子のところへ行く
55～59	空き家にしたくない 熟年離婚はない	定年になって市内に家を建てる
60～64	退職後地元へ 親の介護 外に出ようと思わなかった(当たり前のこと)	病院の近くに住む
65～	親の介護	息子の家で同居 老人ホームに入居

この表から、「親に子の面倒をみてもらう」等をきっかけに地区外で暮らしていた30代が親子で石沢地区に戻ることで子どもの数が増えたという分析がされていることが分か

る。コーホート分析の結果からも同様の結果を見ることが出来る。また、転入による増加以外に10歳未満の人口増加が見られなかったという分析から地区内での出生数の向上も人口増加に必要ではないかと推測される。

4) 人口安定化のシナリオづくり

次に人口推計シミュレーションプログラムを使用し20代前半夫婦、30代前半子連れ夫婦、60代前半夫婦の3世代の目標誘致数を検討いただいた。その際、現実的に達成したい現実版の目標と、可能ならばこれくらい来て欲しいという理想版の目標を立てていただいた(下表参照)。なお10代後半流出率削減目標については現在の男性30%、女性33%を両者とも25%に設定した。合計特殊出生率については現在の1.43から2045年までに1.80へ上昇するよう設定した。人口安定化をより身近に感じていただくために、この流出率削減目標と合計特殊出生率は「⑤—3)人口安定化シナリオ」で設定した数値よりも緩やかな数値目標とした。

表 石沢地区における検討された人口安定化シナリオ

項目	班	A	B	C	D	単位	
誘致世帯数・人数/年 目標							
20代前半夫婦	現実版	0	1.5	2	2.5	組	
	理想版	7	3	2	4		
30代前半子連れ夫婦	現実版	1	1.5	1	2.5		
	理想版	5	5	3	4		
60代前半夫婦	現実版	1	1	3	2		
	理想版	3	1	1	1		
合計人数	現実版	5	9.5	13	16.5		人
	理想版	35	23	15	22		

各班でシミュレーションした結果、様々な組み合わせが検討された。誘致世帯数と人数は、A班の理想版では20代夫婦が7組、30代夫婦が5組、60代夫婦が3組としているが、現実版では20代夫婦が0組、30代夫婦が1組、60代夫婦が1組と理想と現実の違いを表現している。他の班でも現実版ではどの年代の夫婦も年に1~2.5組という想定をしている部分は共通している。理想版は20代と30代の夫婦に多く来て欲しいという狙いが見える。次の図はD班の現実版の検討結果を推計に当てはめたものである。20代と30代の世帯を毎年2.5組、60代夫婦を2組ずつ迎え入れることで、人口は2060年頃から2020年比60%程度の1,000人前後に安定し、小・中学生数も2035年頃には2020年の人数よりも多くなると予測された。

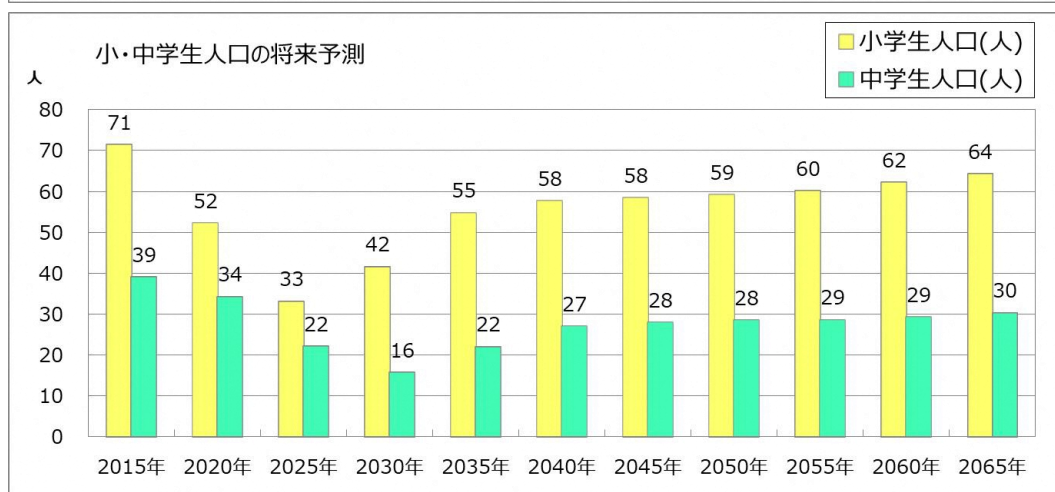
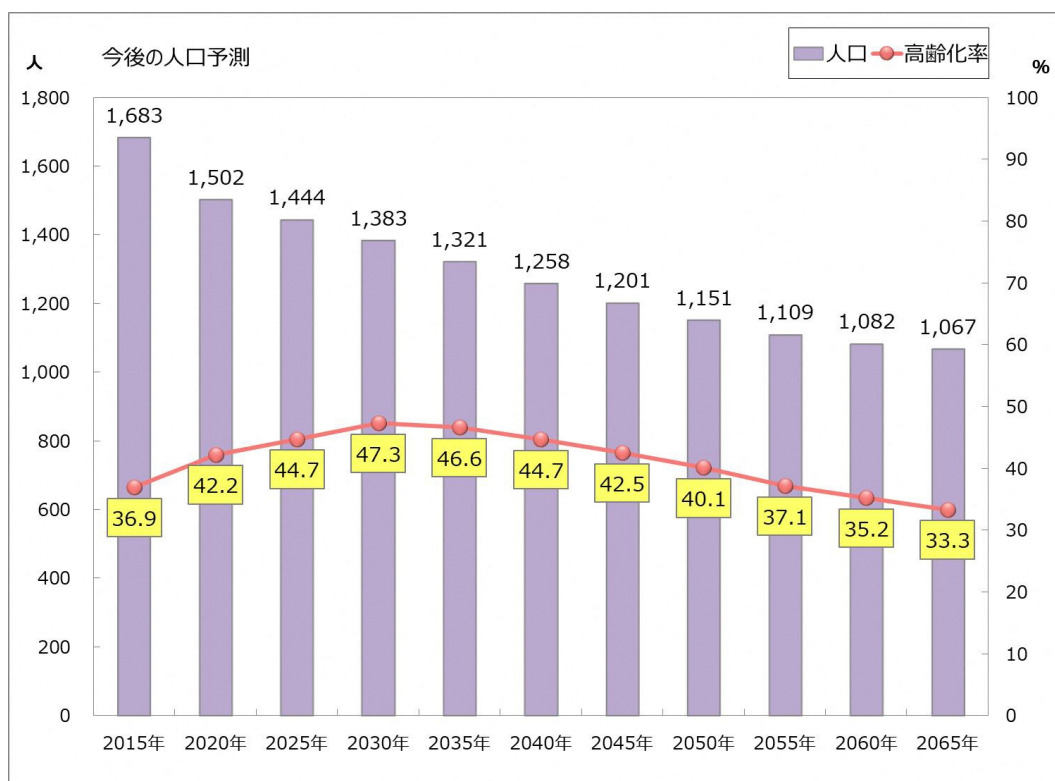


図 石沢地区 D 班現実版の検討結果 人口と高齢化予測（上）と小・中学生数予測（下）

5) まとめ

本ワークショップでは参加された住民の方々に対して、地域の人口動態を今一度、確認する機会として最新情報を提供し認識、共有いただいた。シミュレーションの前に人口動態の状況を確認し、現状のままであると石沢地区の人口減少がどのくらい進むのかを具体的に知り、地域の今後をしっかりと考える時間になった。

実施した結果、人口動態の分析で転出、転入の理由を考える中で地域における良い点と課題点を見つめ直す機会になっていた。シミュレーションではいずれの班も、今の石沢地区として取組んだ場合にどのくらいの人に移住先として選んでくれるのかを考慮して、現実版では具体的に実現出来る想定をした班が多かった。

⑦ ワークショップ（2回目）（地元天気図ワークショップ）

1) 目的

ワークショップ（1回目）を受けて、このワークショップでは地元関係図を基に地域の現状と定住促進を可能とする将来像について検討を行った。地域の行動計画（グランドデザイン）策定の一助、あるいは地域の拠点づくりや実際に移住者を呼び込むという動きを生み出す端緒となることを念頭に置いている。実施地域における今後の検討材料として活用いただきたい。

2) 開催概要

■日時/場所/参加者

- ・日時 2020年11月13日（金）18：30－20：30
- ・場所 由利本荘市石沢公民館
- ・参加者 地域住民（18名）、由利本荘市職員、秋田県職員、NPO法人秋田パートナーシップ職員等
A～Dの4班に市職員等が数名配置され、各班6名前後の構成

■実施・作業内容

- ・株式会社Pサポ東北の太田氏による当日の作業内容等の概要説明
- ・地元天気図ワークショップとして現状と定住促進に向けた地元天気図の作成と地域の定住促進策の検討（テーマ 30代女性が定住するとしたら）
前半は地域の現状や課題を確認するため、施設、組織等について強みや弱み、関係性を検討し現時点での地元天気図を作成
後半は前半で確認した地元天気図にどのような要素が加われば、30代女性が移住・定住しやすくなるのかを検討し将来展望を加味した地元天気図を作成

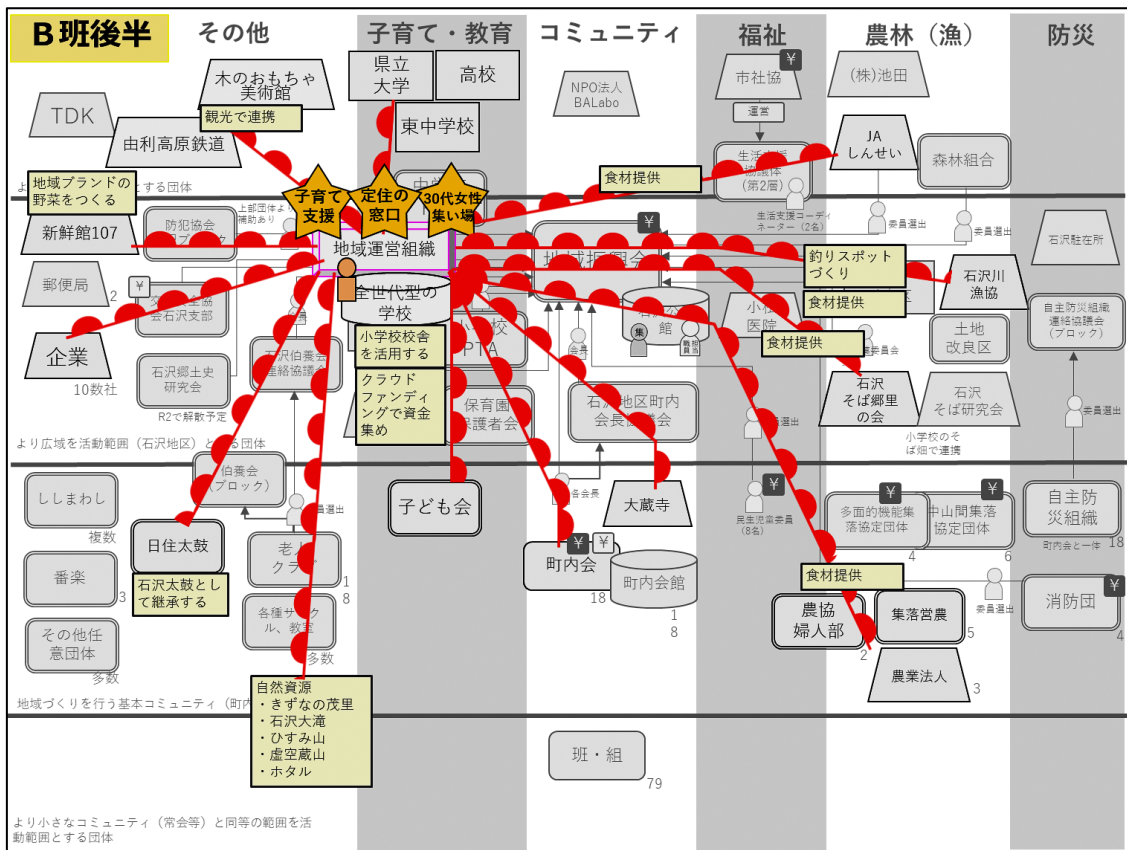
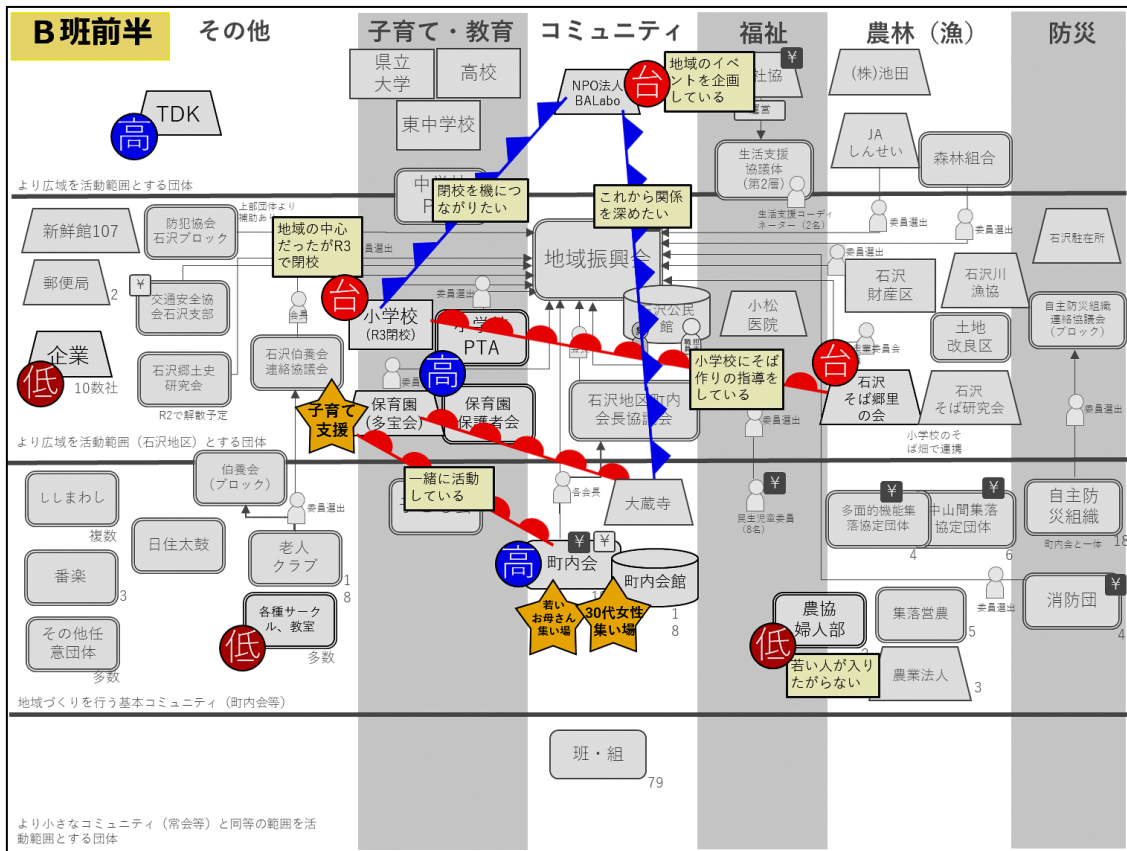
■当日の様子



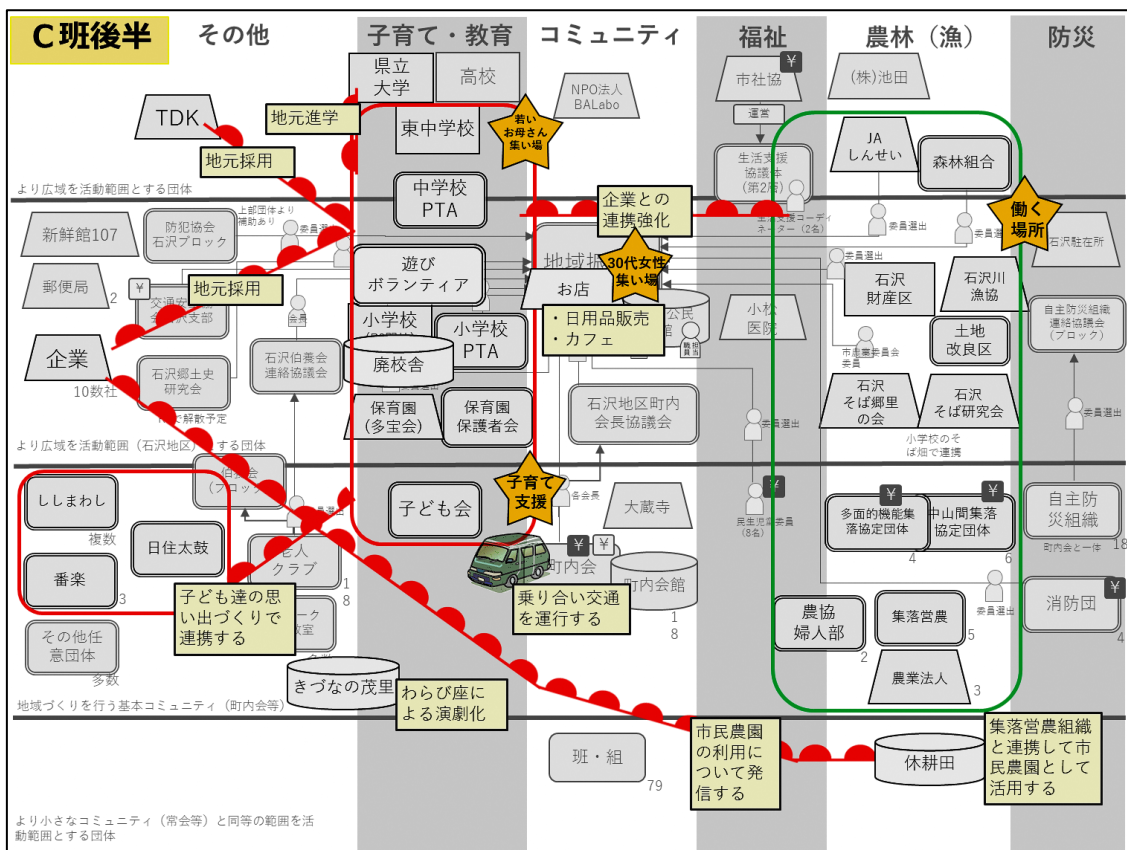
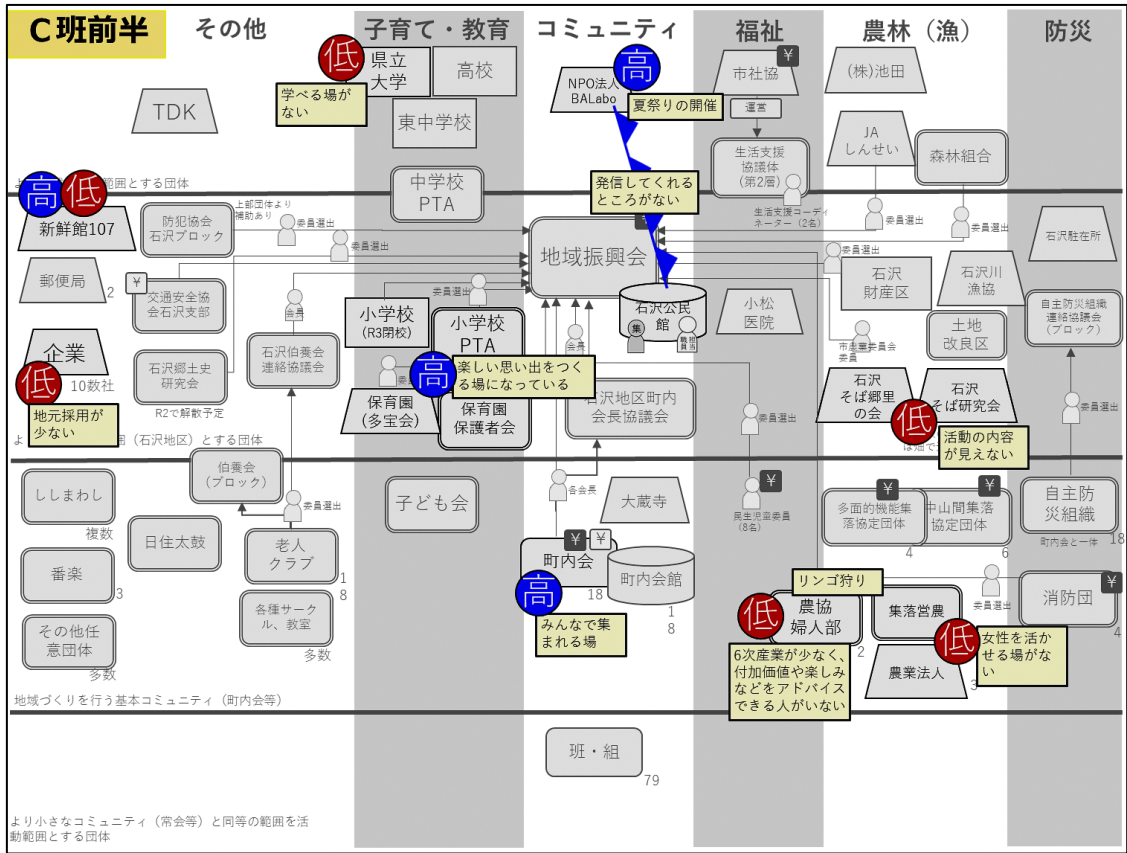
3) 検討結果

石沢地区では4班構成で作業が行われた。その中で例として30～40代の男性がメンバーの大半だったB班、女性メンバーが大半だったC班の検討結果を表示する（「④モデル地区（由利本荘市石沢地区）の概要」に掲載した地元関係図と併せてご覧いただきたい）。

B班の地元天気図（上半・下半）



C班の地元天気図（上半半・下後半）



4) まとめ

地元天気図を提示した B 班、C 班について概略を記載したい。

B 班は 30～40 代の男性が多いグループで、前半の検討では小学校 PTA や保育園保護者会等の子育て世代が集まる機会を提供する組織に好印象であることが分かった。また小学校や保育園と連携した取組みをしている町内会や石沢そば郷里の会といった地域の団体も子育てに関わる仲間という認識があることが分かった。さらに、2021 年 3 月で閉校となる小学校を活用することが今後の石沢地区に必要なだと検討している。一方で、地域内に企業があるものの、勤め先としての認識は高くなく、移住者の働く場としての見込みは薄い状況だった。また、地域内の各種サークルや農協婦人部等の集まりは若い世代の人から敬遠されているというコメントもあり、地域内の若い女性が定着する場が子育て関係のみになっているという分析を行った。

後半の検討では、小学校の廃校活用を起点に、地区内の活動団体や組織をつなぎ合わせて地域を活性化することが話し合われた。具体的には、小学校を子育て支援、若い女性の集まる場、定住の窓口として活用する。小学校内にカフェやレストランをつくり石沢そば郷里の会や農業法人石沢川漁協等からの食材提供での連携、自然資源や農業を活用した体験づくりに取り組む。また、中学校や高校、大学、木のおもちゃ美術館等と連携した地域学習や観光プランの企画実施を考えた。

C 班は女性が多いグループで、前半の検討では小学校や保育園が子どもにとっては楽しい思い出をつくる場になっていて、親の交流の場にもなっているという強みとして認識されていることが分かった。これは B 班と共通の結果となった。また、NPO 法人 BALabo が地域を盛り上げるイベントを行っていることも良い活動と認識されている。一方で、石沢そば郷里の会等は活動内容が分からないため、活動にどうやって関わることが出来るか分からないという認識であった。また、農協婦人部はりんご狩り等のイベントはあるが、運営面での改善が進まないという課題が指摘された。加えて、営農組織は女性が働く場として認識が薄いことが分かった。営農組織だけでなく地区内の企業も地元採用が少ないという課題があることが分かった。

後半の検討では、保育園から中学校までの子育て世代が一体的に活動することで、地区内の企業のことを知る機会づくり、郷土芸能団体と連携した伝承活動と子ども達の思い出づくりを進めることが検討された。また、地区内の営農組織や漁協、ソバに関する活動団体等と連携して働く場というまとまりの中で子どもや子育て世代がつながる機会づくりに取り組むことを考えた。

掲載していないその他の班について簡単に記載する。前半では、保育園や小学校について子育て世代が集まる場として機能していると高く評価している班が複数あった。子育て世代を呼び込む際には強みとなる部分である。後半では、若い女性による地区内をコーディネートする組織をつくり、既存の団体と連携した仕事づくりや拠点整備を行うという案や、空き家を地元企業の社宅に活用して転勤する人が地区に入れる仕組みづくり、小中学校校舎を活用したカフェやレストラン、介護施設づくり等の案が検討された。

⑧ 由利本荘市報告会の開催概要

1) 目的

コミュニティ生活圏形成事業の概要と石沢地区での取組の成果を基に、手法や手応えを由利本荘市全体に発信・共有する目的で行われた⁵。

2) 開催概要

■日時/場所/参加者

- ・日時 2021年1月30日(土) 13:30-15:30
- ・場所 由利本荘市消防庁舎
- ・参加 31名

■次第

第一部 講演 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩氏
2020年代は田園回帰の時代

～由利本荘市の地区別人口予測の概要と全国的な先進事例の紹介～

第二部 パネルディスカッション

コミュニティ生活圏の形成に向けて

～今こそ定住と暮らしの土俵をつくる！～

(1) 石沢地区からの取組報告

報告者 石沢地区 板垣 大介氏

集落支援員 佐々木 順一氏

(2) パネルディスカッション

テーマ1 次世代の定住増加の一番課題となっていること

テーマ2 次世代の定住増加に向けて一番力を入れたいこと

テーマ3 集落同士が連携し、子育て、福祉、農林分野等を地域ぐるみで
つないでこんな仕組みをつくりたい

まとめ 今後に向けての抱負を漢字一文字で

コーディネーター 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所

所長 藤山 浩氏

石沢地区 板垣 大介氏

集落支援員 佐々木 順一氏

由利本荘市移住相談員 津野 朋恵氏

由利本荘市企画調整部地域振興課 加藤 淳子氏

コメンテーター 株式会社Pサポ東北

調査リーダー 太田 陽之氏

⁵ 新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、予定していた開催方式を変更し参加者を制限し藤山氏と太田氏らはリモートで参加いただくオンライン報告会を開催した。本報告会ではZoomビデオコミュニケーションズより提供されるweb会議サービスZoomを使用した。

■当日の様子



3) 内容紹介

本報告会では一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長藤山浩氏より本事業に関連して「2020年代は田園回帰の時代」という演題で講演いただいた。その後、ワークショップ参加者に成果を発表いただいた。パネルディスカッションでは地元住民等、4名の方々と業務を担当した太田氏に参加いただきテーマに対してキーワード方式で、その意味するところを説明いただく形式で執り行った。このパネルディスカッションの内容について抜粋し要約する。

テーマ1 次世代の定住増加の一番課題となっていること

板垣氏キーワード 「まずは止血を」

現在の移住定住促進政策は流出分を外からの移住で補おうとしているが、そもそもの流出を抑えるための取組みが必要だと思う。若者が地元での生活に希望を抱けるように挑戦出来る環境であることが大事になると思う。

津野氏キーワード 「自分が在りたい姿」

移住相談員と地元で家業を継いだという2つの視点で考えたときに、その地域で暮らしたいと思う人が「自分がどのように在りたいか」を持つことが出来ているかが、地域で暮らす時の根本になるので大事にしている。

加藤氏キーワード 「ひとりひとりの幸せ」

幸せの感じ方や生きがいは一人一人異なるので、その違いを認め合いながら暮らしていける社会が地域の中にあり、地域で活動することへのハードルが低く、自分の役割がある地域になって欲しい。

テーマ2 次世代の定住増加に向けて一番力を入れたいこと

佐々木氏キーワード 「子育て力の発信と質の向上」

もともと教育を地域ぐるみでやってきたので、子育てに関する取組みに力を注ぐことで、子育て世代が暮らしたくなる環境にしていきたい。

津野氏キーワード 「地域の在りたい姿+移住」

テーマ1では自分がどう在りたいかを分からないと暮らしにくいと話したが、地域側でもどう成りたいのか、ビジョンを掲げて内外に示すことが必要だと思う。ビジョンが移住者にとって暮らしたいところなのかを判断する材料に出来る。

テーマ3 集落同士が連携し、子育て、福祉、農林分野等を地域ぐるみでつないでこんな 仕組みをつくりたい

太田氏キーワード 「農林業、地域内の仕事でマルチワーク」

地域内の仕事のいくつかをつないで雇用を生み出すマルチワークを実践する。その前段階として、地域内の仕事を知る座談会や情報交換会を大人向け、子ども向け、外向けに実施して石沢地区の仕事を知る機会をつくるところから始める。

まとめ 今後に向けての抱負を漢字一文字で

板垣氏キーワード 「心」

地域活動に参加するようになり思うのが、基本的に無償だが賃金以上に心が満たされると感じる人が多い。子ども達にもそういう気持ちで地域に関わって欲しいと願っている。

⑨ まとめ（成果と委託機関による方向性の提示）

石沢地区は、地区を挙げて教育に対する熱意が高い地域である。小学校での石沢そばの種まきと収穫体験、戦時中に疎開していた元お茶の水高等女学校の生徒が桜を植樹した絆の茂里整備を通じた平和学習等の活動が続いてきた。また、地区内には新鮮館 107 という住民有志により設立、運営されている直売所と食堂を併設した施設がある。事前ヒアリングでは、2021年3月で石沢小学校が閉校するためこれまでのような地区と学校とで連携した活動の継続が困難になることが課題として挙げられた。

ワークショップ（1回目）では、直近5年間の人口動態を分析し男女ともに10代後半から40代の転出が目立つことを確認し、人口安定化シナリオの検討では移住目標の理想版と現実版の検討を行い、地区が現状の子どもの人数を維持していくために必要な目標を共有することが出来た。ワークショップ（2回目）では、地域内組織の関係性を確認し、全体的に保育園や小学校が子育て世代の交流の場として年代性別問わず認識されていること、農林業は職業上関わりが薄いということが分かった。ただし、農林業は今後の働く場として期待されていることも確認出来た。

これからの石沢地区での定住促進策として、新鮮館 107 にコンシェルジュ付きの市民農園を併設して、農業初心者をサポートしながら遊休農地を活用する仕組みをつくり、農業の新たな担い手育成や遊休農地の解消を目指すことが挙げられる。また、閉校する石沢小学校を、若い世代の女性から要望が多い、集える場所や子育ての相談が出来るカフェとしての活用、2021年から運行予定の「乗り〔逢い〕交通」の基地や住民の交流サロンとしての活用、石沢の特産品を売買出来る地産地消の拠点としての活用等住民が多用途に使える施設として活用していくことも検討いただきたい。